



選手・保護者のための

エリセFC通信

No.172

H30, 2, 8発行

エリセフットボールクラブ
中野少女サッカースポーツ少年団

ゼビオカップレディース フットサル大会の結果と様子

2月3日(土)、4日(日)は、松本スカイパーク体育館で「ゼビオカップレディースフットサル大会」が行われました。今まで毎週フットサルの練習に励んできましたが、その成果を試す絶好の大会でした。

3日(土)は少女の部、ほのかさん、まなりさん、あやねさん、のどかさん、りんさん、さわさん、の6人で参加しました。結果は1勝2敗…。残念ながら得失点差で決勝トーナメントに出場することはできませんでした。

フットサルはコートが狭いので、ボールの扱いがうまくいかないと、すぐに相手に囲まれてしまい、よけいに焦って、変な方にけってしまいます。これはエリセだけでなく、他のチームも、大なり小なりボールコントロールに課題はありましたが、このボールを思った通りに止める、ねらったところにける選手の多いチームが勝ち続けていました。優勝するためには、止めるけるの技術プラスすばやい判断と、すばやく動けるフィジカルも必要になってきます。エリセのみんなは、練習では、そこそこ止めたり、けったりすることができるようになってきましたが、試合になると、みんな焦ってしまいできなくなってしまいました。本番の試合のようなプレッシャーのある試合・練習が必要だと思いました。

それにしても、最後のスワンさんと、前半3対1で勝っていましたが、後半立て続けに3失点！エリセも1点返しましたが、残り3秒で勝ち越され、準決勝進出できませんでした。3秒持ちこたえていれば予選2位で準決勝進出でした！後半になると足が止まってしまい、相手の攻撃をどんどん受けてしまう課題が見つかりました。



4日(日)はレディースの部に参加しました。1試合目は塩尻アンテロープ！…ここ数年、連続して優勝しており、今年も北信越女子フットサルリーグに参加しているチームです。

エリセは強豪相手に、ひるむことなく攻めています。最初の「ゲームの入り」は最高です。アンテロープさん相手にどんどんボールを回し、相手にプレッシャーをかけることができていました。ボールを奪われた時の戻りも速く、シュートを打たせません！

ただ、アンテロープさんは、相手ゴール前へのパスのスピード、パスの正確さはさすがでした。フットサル特有な動きもみんなが理解し動けていましたね。ピヴォあて、ファー詰め、キックインからのシュートの形、8の動きなど、エリセのみ

んなも理解し始めているフットサルのプレーが、すでにチーム全体に行き渡っていました。8(エイト)の動きは、パスをまわしながら、相手選手をボールに集中(ボールウォッチャーに)させ、相手の見えない背後を走りマークがずれたところ、空いたスペースができたところで、たてパスを入れていく戦術です。エリセもそれをやろうとしており、この頃その形も作れてきましたが、そのエイトの動きを最後までやり通すのは、まだ難しかったようです。

結果は1対4でしたが、この試合の敗因は、点を入れられるたびに、ボールを保持している相手選手へのマークが甘くなり、自由にボールを回させてしまいました。そうなれば、ほとんどパスミスしない相手からボールを奪うことができません。前半できていたボール保持者にきびしくプレッシャーをかけながら、相手のパスミスさをさそい、それをエリセが奪う形が後半は少なくなっていました。

また攻撃においても、失点されるたびに(今までのエリセの攻撃パターンであった)ボールを1人でドリブルすることにより、相手選手の素早いプレッシャーの餌食になりボールを奪われる場面も見られるようになってきました。サッカーの場合は、ドリブルすることで、相手を密集、また相手選手の視線をボールに集中させ、空いたスペースを作りながら、そのスペースに味方選手が入



り込んで、フリーでボールを受けるプレーができますが、狭い場所で行うフットサルの場合、ボールをドリブルし、相手に2人以上で囲まれるとパスコースがほとんどない状態になります。ただ、それじゃあ、パスだけで攻めれば良いと思っても、肝心な時に、1対1で相手を抜けなかったり、また、自分でシュートできる場面であるにもかかわらずパスしてしまうことがあります。パスとドリブル、いつ、どんな時に使う分けるのか、試合経験を積み重ねながら判断の力を身に付けていきましょう！ただ、この試合、後半途中から入ったほのかさんの献身的で素早いプレッシャーから、相手のパスミスを誘い、スパッタボールを得点に結びつけました。失点の少ないアンテロープさんから1点を決めたのはチームにとって大きな自信につながりましたね。

第2試合は源流さんとの対戦でしたが、対戦前に、得失点差で17点入れないと、源流さんに勝っても準決勝に行けないという状態で試合に臨みました。「もうだめだ～」とあきらめてしまうパターンと、「よし、17点入れてやろう！」と奮い立つパターンと分かれてしまいがちですが、エリセの場合は後者でした。みんな勝負をあきらめず、果敢に攻めていきました。

相手の源流さんもしっかり“フットサル！”していました。ボールをどんどん回してきます。源流さんはゴールキーパーがかなりスーパーな選手です！、エリセのシュートをことごとくブロック。シュートの数からいけば17本くらいシュートしていましたが、枠に入ったのは2本でした。

この試合2対0で勝利したにもかかわらず、得失点差で予選敗退でした。この試合は無失点だったことは大いに評価できますが、シュートに関しては、普通にシュートするだけじゃあ、上手なキーパーに取られてしまう。フットサル独特のシュートの形を確実にできるように練習する必要を感じました。

少女の結果

- ① ●エリセ 2-4 源流
 - ② ○エリセ 1-0 大町プチタフィタ
 - ③ ●エリセ 4-5 スワン4年生チーム
- <1勝2敗…予選順位・第4位>
*スワンさんに引き分けていれば準決勝進出でした。残り3秒の失点でした！

レディースの部

- ① ●エリセ 1-4 塩尻アンテロープ
 - ② ○エリセ 2-0 源流
- <1勝1敗…予選順位・第4位>
*源流さんが塩尻高校と15対0で勝ったため源流さんが準決勝に進出です！
- 1位…塩尻アンテロープ（2勝）
2位…源流（1勝1敗）
3位…諏訪Mets（1勝1敗）
4位…**エリセFC中野（1勝1敗）**
5位…東京都市大学塩尻高校サッカー部（2敗）



試合後のエリセレディースチームの選手たち

今後の予定

- 2月17日（土）妙高ふれあいパーク体育館…フットサル練習試合
- 2月24日（土）フットサルフェスin信州中野
- 2月25日（日）フットサルフェスin信濃町（…予定？）
- 3月18日（日）上越U12フットサル大会（会場未定）
- 3月 日（日）「6年生新しい出発の会」行います。会場は西部公民館です。日にちは後日連絡します。



2月24日（土）の計画

- 参加者 エリセFC全員
- 持ち物 試合のできる用意（小学生…紫、中学生以上…黄色ユニホーム）
アンダーシャツは色自由！お弁当、水分
- 集合 8時00分 中野市民体育館に集合
*荷物をギャラリーに置いたら、ゴール、フェンス、ベンチ、得点板の用意をお願いします。
- 9時頃～16時頃 フットサル大会
- 終了 16時30分頃
- 対戦相手は、別紙参照

